

報告事項 1.

2018年度 事業報告

【公益目的事業】

1. 調査・研究事業の推進

1-1 調査・研究

石油及び周辺エネルギーに関する科学技術の一層の発展，石油・エネルギーの安定供給，及び地球環境の保全を図るため，部会活動を中心に調査・研究を行った。

1-1-1 部会活動

(1) 石油化学部会

次世代の化学品製造のためのプロセスや触媒，原料多様化などを見据えた研究開発の現状を調査するために以下の活動を行った。

- 1) 「次世代自動車向けの樹脂素材」について有識者からの情報収集を2018年10月26日(金)に実施した。
- 2) 「"CASE"が引き起こす自動車産業革命」について有識者からの情報収集を2019年2月1日(金)に実施した。

(2) 製品部会

- 1) ガソリン分科会では，第41回CFRオクタン価照合試験を行った。
- 2) アスファルト分科会では，TLC/FID法によるアスファルト組成分析試験に用いる試薬変更の検討を行った。
- 3) 絶縁油分科会では以下の活動を行った。
 - a) 絶縁油関連の文献を調査し，最新情報の共有化を図った。
 - b) Stray gassing（これまでよりも比較的低温領域で可燃性ガスを多量に生成する現象）に関する試験方法の検討を行った。
 - c) 電気絶縁油ハンドブック（講談社発行，石油学会編）の追補版作成の検討を行った。
 - d) 生分解性電気絶縁油のJIS制定に向けた検討を行った。
 - e) JIS C 2320「電気絶縁油」及びC 2101「電気絶縁油試験方法」の改正に向けた検討を行った。
- 4) 試験分析分科会では以下の活動を行った。
 - a) 石油製品中のナトリウム分，カリウム分の分析にICP発光法を適用する検討を行った。
 - b) ガスクロマトグラフを用いたガソリンの全成分試験方法について検討を行った。
 - c) 灯油中のクマリン分の分析にガスクロマトグラフ及び液体クロマトグラフを適用する検討を行った。
 - d) (株)堀場製作所を2019年1月28日(月)に訪問し，「最新の分析機器の動向及び生産工場」についての情報収集・意見交換を行った。

(3) 装置部会 装置委員会

- 1) 回転機分科会では，西部石油(株)山口製油所を2019年1月25日(金)に訪問し，「往復動圧縮機のトラブル事例」についての情報収集・意見交換を行った。
- 2) 計装分科会では，三菱重工業(株)神戸造船所を2018年10月25日(木)に訪問し，「防爆型移動ロボット」についての情報収集・意見交換を行った。
- 3) 電気分科会では以下の活動を行った。
 - a) 「身近な作業から発生した失敗事例とやっておけばよかった点検」と「IoT (ICT) を用いた電気事故のリスク低減の可能性について」をまとめ，電気研究討論会にて報告した。

- b) JXTGエネルギー(株)大分製油所と出光大分地熱(株)滝上バイナリー発電所を2018年10月25日(木)、26日(金)に訪問し、「電気設備のトラブル対応」についての情報収集・意見交換を行った。
- 4) 設備保全分科会では以下の活動を行った。
 - a) 「設備技術事例の紹介」について第2回設備技術専門委員会にて報告した。
 - b) 白島石油備蓄(株)北九州事業所を2018年7月20日(金)に訪問し、「設備技術対応事例とトラブル事例」についての情報収集・意見交換を行った。
- (4) 経営情報部会

下記WGを設置して調査・検討を行った。WG1では、その調査内容をもとに創立60周年記念東京大会(第48回石油・石油化学討論会)でシンポジウムを企画・実施した。

WG1「石油・石油化学プラントにおけるAI技術とその活用方法の調査・研究」

WG2「石油・エネルギー産業史」
- (5) 新エネルギー部会

次世代バイオ燃料分科会で、次世代バイオ燃料及びCO₂有効活用方法の最新技術の動向を調査するために以下の活動を行った。

 - 1) 「バイオエコノミー」について有識者からの情報収集を2018年5月15日(火)に実施した。
 - 2) 積水化学工業(株)を2018年7月10日(火)に訪問し、「ごみからエタノールを製造するプラント」についての情報収集・意見交換を行った。
 - 3) 北九州市立大学を2018年10月29日(月)に訪問し、「High Quality Bio-Diesel」についての情報収集・意見交換を行った。
 - 4) 福岡市中部水処理センターを2018年10月30日(火)に訪問し、「メタン発酵からのガスエンジン発電」及び「メタンから製造した水素を用いた水素ステーション」についての情報収集・意見交換を行った。
 - 5) 「地方自治体と協働で進める地域エネルギーシステム設計に関し、バイオマス資源の利活用方法、システム的なアプローチグランドデザイン」について有識者からの情報収集を2019年1月8日(火)に実施した。

1-1-2 受託、参加事業

- (1) (一財)石油エネルギー技術センターが実施する「石油精製高付加価値化等技術開発事業」のうち、①プロセスコンフィグレーション評価モデルの作成、②革新的石油精製技術のシーズ発掘の技術支援を受託し、実施した。
- (2) (一財)JCCP国際石油・ガス協力機関が実施する「産油・産ガス国事業環境整備等事業」のうち、①テーマ別合同シンポジウム事業、②産油・産ガス国研究者受入事業に参加し、調査・研究を実施した。
- (3) (一財)日本規格協会が実施する「日本工業規格原案共同作成事業」を受託し、実施した。

1-2 成果公開・普及

前述の部会、委員会活動や受託事業で得られた調査・研究の成果並びに創立以来蓄積された石油及び周辺エネルギーに関する知見を様々な形で広く公開した。石油及びエネルギーに関する情報の普及に努めることで、国民がこの分野に関心を持ち、石油資源の現状とその有効利用に対する理解を深めること、本分野の研究者・技術者のすそ野が拡大することを目指した。

1-2-1 会誌(一般誌)

- (1) 会誌(『ペトロテック』月刊)を発行し、会員に配布したほか、一部外部に頒布した。
 - 1) 各月の主な内容は次表のとおりである。

巻 数	第41巻									第42巻			合計
号 数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
時評	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
座談会	1	1	0	1	1	1	0	1	0	1	0	1	8
一般総説・資料	9	10	13	10	9	11	11	11	12	10	11	9	126
在外研究MAP	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
教えてプラスチック	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
先輩から後輩へのメッセージ	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	4
私事白書	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	6
Debutant	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	6
My研究室ライフ	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	6
辛口放談	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	10
讃嘆石油史！	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
ふるさと自慢	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
趣味談議	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
JPIJSだより	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
エネルギー知ってるはず	1	0	1	0	1	1	1	0	1	1	1	1	9
新技術紹介	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
おすすめの一冊	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	4
目次裏統計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
全頁数	92	84	84	82	86	82	88	86	85	82	72	78	1001

2) 特集記事を以下のとおり掲載した。

＊2018年4月号「ようこそ石油・石油化学業界へ2018」

＊2018年5月号「化学物質リスクアセスメント」

＊2018年6月号「ファインバブル」

＊2018年9月号「2017年度受賞講演（1）」

＊2018年10月号「2017年度受賞講演（2）」

＊2018年11月号「2017年度受賞講演（3）」

＊2019年1月号「ペトロリオミクス」

＊2019年2月号「革新的な過酸化水素水合成法の開発」

3) その他、国内・海外の最近のニュース、論文誌掲載論文目次、学会活動を報告する「学会の窓」などを掲載した。

1-2-2 広報

(1) 講演会、研究発表会等の学会活動を報道各社に紹介した。

(2) ホームページコンテンツの一層の充実を図るとともに、学会行事や学会活動の成果を随時ホームページにて紹介した。

(3) 創立60周年記念東京大会において、パネルディスカッション―次世代につなぐイノベーション及び写真展―石油・石油化学産業の変遷を企画し、一般に公開した。

(4) 会員を始めとするWeb閲覧者向けに実施している「ペトロテック」の過去掲載記事を検索・閲覧するサービスとして、第41巻第9号までの記事を公開した。

1-2-3 講演会等（移動大学・リレー講座、支部講演会、JPIJS講演会、部会講演会）

(1) 多くの方々に石油に関する理解や興味を深めてもらうため、大学生（院生を含む）や一般市民を対象として、移動大学「石油関連セミナー」を石油連盟の支援のもとに実施した。2018年度は移動大学では26の大学・機関において講義数67コマを実施し、リレー講座では3大学において講義数

29コマを実施した。

(2) 支部講演会等

[北海道支部]

- 1) 化学系学協会北海道支部合同夏季研究発表会を2018年7月21日(土)に共催した(北見市)。
- 2) 第18回北海道支部講演会を企画し、2018年11月22日(木)に実施した(札幌市)。
- 3) 化学系学協会北海道支部合同冬季研究発表会を2019年1月22日(火)、23日(水)に共催した(札幌市)。

[東北支部]

第35回東北支部講演会を企画し、2019年2月7日(木)に実施した(仙台市)。

[東海支部]

- 1) 第6回東海支部講演会を企画し、2018年9月14日(金)に実施した(名古屋市)。
- 2) 第2回学生向け企業見学会・講演会(製油所見学)を企画し、2018年12月7日(金)に実施した(四日市市)。
- 3) 東海地区の4製油所・事業所にて学部・大学院生を対象として2018年8月中旬から9月上旬に行われたインターンシップ事業に協力した。

[関西支部]

- 1) 第26回学生企業見学会(製油所見学)を企画し、2018年8月6日(月)に実施した(堺市)。
- 2) 第25回関西支部セミナーを企画し、2018年10月19日(金)に日本エネルギー学会関西支部と共催した(大阪市)。
- 3) 関西地区の製油所にて学部・大学院生を対象として2018年8月中旬に行われたインターンシップ事業に協力した。
- 4) 第27回関西支部研究発表会を企画し、2018年12月14日(金)に日本エネルギー学会関西支部と共催した(吹田市)。

[中国・四国支部]

- 1) 第36回中国・四国支部講演会を企画し、2018年12月3日(月)に実施した(松山市)。
- 2) 第23回中国・四国支部技術交流会を企画し、2019年2月1日(金)に実施した(山口県玖珂郡)。
- 3) 中国・四国地区の4製油所・事業所にて学部・大学院生を対象として行われたインターンシップ事業に協力した。

[九州・沖縄支部]

- 1) 第40回九州・沖縄支部講演会を企画し、2018年6月27日(水)、28日(木)に実施した(久米島)。
- 2) 第41回九州・沖縄支部講演会を企画し、2018年12月12日(水)に実施した(北九州市)。

(3) JPIJS講演会

- 1) 第23回若手研究者のためのポスターセッションを、2018年5月22日(火)に開催の第67回研究発表会に併せて開催した。59件の発表があり、最優秀ポスター賞を1件、優秀ポスター賞を3件選定し、表彰した。
- 2) 創立60周年記念東京大会(第48回石油・石油化学討論会)において、国際セッションを企画し、最優秀賞を選定し、1名に授与した。また、JPIJSポスターセッションを企画し、49件の発表があり、最優秀ポスター賞を1件、優秀ポスター賞を4件選定し、表彰した。
- 3) ペトロテック各号に「JPIJSだより」として行事報告等を掲載した。
- 4) その他、全国においての活動は次のとおりである。

[東日本地区]

- a) 第57回オーロラセミナーを2018年7月8日(日)、9日(月)に触媒学会と共催した(札幌市)。
- b) JPIJS講演会を2018年10月16日(火)に開催した(千代田区)。

[西日本地区]

- a) コロキウム2018を2018年8月27日(月)、28日(火)に日本エネルギー学会関西支部、石油学会

関西支部と共催した（芦屋市）。

- b) 第29回若手ケミカルエンジニア討論会を2018年7月13日(金)、14日(土)に化学工学会九州支部と共催した（阿蘇市）。

(4) 部会講演会

[資源部会]

- 1) 資源講演会「低炭素化時代の石油・天然ガス」を企画し、2019年3月6日(水)に実施した。
- 2) 創立60周年記念東京大会（第48回石油・石油化学討論会）において「石油・天然ガス開発」のセッションを企画し、協力した。

[精製部会]

- 1) 29th JPI Petroleum Refining Conference「Recent Progress and Future Prospect in Petroleum & Petrochemical Technologies」を企画し、2018年10月4日(木)、5日(金)に実施した。
- 2) 創立60周年記念東京大会（第48回石油・石油化学討論会）において「ペトロリオミクス」のセッションを企画し、協力した。
- 3) 第44回精製パネル討論会を企画し、2019年2月22日(金)に実施した。
- 4) 第43回精製パネル討論会会議録〔2018年2月19日(月)開催〕を2018年5月に発行した。

[石油化学部会]

- 1) 創立60周年記念東京大会（第48回石油・石油化学討論会）において「水銀除去」「バイオマス利活用研究の新展開」「ポリマー・オリゴマー」のセッションを企画し、協力した。
- 2) 第1回石油化学部会シンポジウム「CCUS—エネルギーと化学におけるCO₂回収固定・利用」を企画し、2018年12月7日(金)に実施した。

[製品部会]

- 1) 2018石油製品討論会を企画し、2018年12月6日(木)に実施した。
- 2) 絶縁油分科会では、第38回絶縁油分科会研究発表会を企画し、2018年6月1日(金)に実施した。

[装置部会]

- 1) 装置部会では、創立60周年記念東京大会（第48回石油・石油化学討論会）において「装置・設備保全」のセッションを企画し、協力した。
- 2) 回転機分科会では、第18回 回転機研究討論会を企画し、2018年10月29日(月)に実施した。
- 3) 配管分科会では、第15回配管技術セミナー「初級編～プラントの配管材料基準に関する技術の習得」を企画し、2018年11月21日(水)、22日(木)に実施した。
- 4) 保安分科会では、2018年度保安セミナー「事例で学ぶ変更管理とリスク源の特定」を企画し、2018年11月26日(月)に実施した。
- 5) 設備保全分科会では、第49回装置研究討論会「設備保全の温故知新」を企画し、2018年12月10日(月)、11日(火)に実施した。
- 6) 計装分科会では、第35回計装研究討論会を企画し、2019年3月1日(金)に実施した。
- 7) 電気分科会では、第19回電気研究討論会「トラブルへの対応」を企画し、2019年3月7日(木)に実施した。
- 8) 設備維持規格委員会の屋外貯蔵タンク維持規格分科会では、第1回屋外貯蔵タンクセミナー「初級編 ～屋外貯蔵タンクの基礎技術の習得～」を企画し、2018年11月2日(金)に実施した。

[経営情報部会]

創立60周年記念東京大会（第48回石油・石油化学討論会）において「石油・石油化学プラントにおけるAI技術活用事例と課題」のシンポジウムを企画し、協力した。

[新エネルギー部会]

- 1) 新エネルギー部会講演会「脱炭素化に向けた国内外の情勢と再エネ利用の革新技術」を企画し、2019年2月21日(木)に実施した。
- 2) 創立60周年記念東京大会（第48回石油・石油化学討論会）において「次世代バイオ燃料技術」

のセッションを企画し、協力した。

1-2-4 規格の制定・普及

[製品部会]

1) ガソリン分科会

次の規格の追補を公開した。

- * 5R-5-18 [リサーチ法及びモータ法オクタン価測定マニュアル]

2) 潤滑油分科会

次の規格の追補を公開した。

- * 5S-19-94 [スラッジ評価法]
- * 5S-25-08 [ガソリンエンジンワニス評価法]
- * 5S-34-01 [2サイクルエンジン清浄性評価法]
- * 5S-69-09 [ギヤ歯面性評価法]

3) アスファルト分科会

次の規格の追補を公開した。

- * 5S-22-83 [アスファルトのカラムクロマトグラフィーによる組成分析法]

4) 試験分析分科会

次の規格の見直しを実施した。

- * 5S-62-11 [石油製品—金属分試験方法]
- * 5S-71-10 [石油製品—クマリンの求め方—蛍光光度法]

[装置部会]

(1) 装置委員会

1) 機器分科会

次の規格の見直しを実施した。

- * 7S-44-73 [石油工業用熱交換器フランジ]
- * 7S-80-04 [堅形容器用リフティングラグ]
- * 7R-35-13 [スカートをも有する塔槽類の強度計算]
- * 7R-71-12 [堅形容器用レグ]
- * 7R-72-06 [堅形容器用ラグサポート]
- * 7R-86-99 [機器の基礎ボルト]

次の規格の改訂を実施した。

- * 7S-8-18 [塔類プラットホーム及びラダー] 2018年10月26日改訂
- * 7S-34-18 [炭素鋼製マンホール] 2018年6月26日改訂
- * 7R-51-18 [空冷式熱交換器の構造] 2018年3月16日改訂

2) 配管分科会

次の規格の見直しを実施した。

- * 7S-14-97 [石油工業配管用アーク溶接鋼管]
- * 7S-15-11 [石油工業用フランジ]
- * 7S-39-11 [バルブの検査基準]
- * 7S-43-08 [石油工業用大口径フランジ]
- * 7S-46-11 [鋳鋼製フランジ型及び突合せ溶接型弁]
- * 7S-58-06 [ステンレス鋼鋳鋼製フランジ形軽量耐食弁]
- * 7S-67-06 [石油工業用バルブの基盤規格]
- * 7S-75-13 [配管用PTFE被覆ガスケット及びPTFEソリッドガスケット]
- * 7S-84-96 [石油工業用鋼鉄ボス、ブランチアウトレット及びプラグ]
- * 7S-90-02 [管の曲げ加工法]

- * 7R-78-98 [保温・保冷の設計・施工指針]

次の規格の改訂を実施した。

- * 7S-23-18 [石油工業用リングジョイントガスケット及び溝] 2018年10月25日改訂
- * 7S-41-18 [配管用うず巻形ガスケット] 2018年10月18日改訂
- * 7S-46-18 [鋳鋼製フランジ形及び突合せ溶接形弁] 2018年3月16日改訂
- * 7S-67-18 [石油工業用バルブの基盤規格] 2018年3月16日改訂
- * 7S-77-18 [石油工業用プラントの配管基準] 2018年6月19日改訂
- * 7S-79-18 [配管用膨張黒鉛シートガスケット] 2018年3月16日改訂

(2) 設備維持規格委員会

1) 次の規格の改訂及び追補の公開を実施した。

- * 8S-1-18 [配管維持規格] 2018年10月31日改訂
- * 8S-4-18 [電気設備維持規格] 2018年11月5日改訂
- * 8R-14-18 [耐圧・気密試験] 2018年10月22日改訂
- * 8R-15-18 [フランジ・ボルト締付基準] 2018年11月5日改訂
- * 8S-2-16 [設備維持規格] 追補
- * 8S-6-15 [屋外貯蔵タンク維持規格] 追補
- * 8R-11-14 [防食管理] 追補
- * 8R-12-14 [劣化損傷の評価と対応] 追補

2) 設備維持規格の内容に関する講習会及び管理士資格者を対象とした更新講習会を開催した。

- a) 設備維持規格講習会（回転機），設備維持管理士更新講習会（回転機）を2019年1月9日（水）に東京で実施した。
- b) 設備維持規格講習会（電気設備），設備維持管理士更新講習会（電気設備）を2019年1月10日（木）に東京で実施した。
- c) 設備維持規格講習会（配管・設備）を2019年1月11日（金）に東京で，2019年1月15日（火）に京都でそれぞれ実施した。
- d) 設備維持規格講習会（計装設備），設備維持管理士更新講習会（計装設備）を2019年1月16日（水）に東京で実施した。
- e) 設備維持管理士更新講習会（配管・設備）を2019年2月15日（金）に東京で，2019年2月18日（月）に京都でそれぞれ実施した。

3) 設備維持規格の一層の周知徹底，理解を深めるため，該当する規格内容全般に関する学習ツールについて検討を実施した。

1-2-5 設備維持管理士

(1) 資格付与

設備維持管理士認証委員会において設備維持規格の内容に関する認証のための評価試験を行い，合格者に設備維持管理士の資格を付与した。

- 1) 設備維持管理士認証のための評価試験を2019年2月3日（日）に東京及び大阪で実施した。その結果，設備維持管理士（配管・設備）として84名（受験者数282名），設備維持管理士（回転機）として23名（受験者数66名），設備維持管理士（電気設備）として13名（受験者数45名），設備維持管理士（計装設備）として46名（受験者数95名）をそれぞれ認証した。
- 2) 設備維持管理士更新については，資格証明証の有効期限が2019年3月31日及び2020年3月31日の登録者が対象で2019年3月20日（水）開催の設備維持管理士認証委員会にて更新者の承認を行った。その結果，配管・設備218名，回転機17名，電気設備15名，計装設備38名が資格を更新した。

(2) 顕彰

設備維持管理士制度の認知を広げ，制度の更なる普及を目的に，創立60周年記念東京大会で，3

つの事業所に対し設備維持管理士育成優良事業所の顕彰を行った。

2. 研究・技術開発の支援

2-1 研究発表会、石油・石油化学討論会、論文誌刊行

石油及びその周辺エネルギー分野における研究、技術開発の一層の推進を図るため、研究者や技術者の成果発表や情報交換の場として、研究発表会及び石油・石油化学討論会を開催した。さらにこれらの成果を論文誌として刊行・公開した。

- (1) 第67回研究発表会を2018年5月23日(水)に開催した。
- (2) 創立60周年記念東京大会「これまでの60年一次世代につなぐイノベーション」(第48回石油・石油化学討論会)を2018年10月17日(水)、18日(木)に開催した。
- (3) 韓国工業化学会(KSIEC)の秋季大会における第5回 JPI-KSIEC Joint Symposium に3名が参加し、研究成果を発表した。
- (4) 論文誌「Journal of the Japan Petroleum Institute」(隔月刊)を発行し、冊子は公共会員(20部)及び外部に各号27部を頒布した。2018年度の掲載内容は次表のとおりで、第61巻第5号には「鳥取大会」特集論文を掲載した。

本誌オンラインジャーナルとしてJ-Stageに第62巻第2号までを公開した。2018年度の論文ダウンロード件数は約68,000件(うち海外は約42,000件)であった。

巻数	第61巻				第62巻		合計
号数	3	4	5	6	1	2	6
総合論文	2	—	1	2	—	1	6
一般論文	1	4	8	2	5	2	22
ノート	1	—	2	1	1	2	7
技術報告	—	—	—	—	—	—	—
レター	—	—	—	1	—	—	1
件数合計	4	4	11	6	6	5	36
全頁数	34	34	83	42	51	34	278

2-2 研究助成

2019年度の助成金交付対象者を以下の2名に決定した。

- (1) 「Cu種の配位構造に着目したCO₂からのメタノール合成触媒の開発」(助成額 100万円)
東京大学 特任助教 多田 昌平 氏
- (2) 「気相酸素を用いた低級アルカンからの有用化学原料合成に有効な異種金属置換ポリオキソメタレート触媒の開発」(助成額 100万円)
東京大学 助教 矢部 智宏 氏

2-3 表彰

石油学会表彰規程、野口記念賞表彰規程により、学会賞2件、論文賞2件、技術進歩賞2件、奨励賞4件、学会功績賞1件の授賞を決定した。

【収益事業等】

1. 受託事業

- (1) 製品部会ガソリン分科会において、(株)石油産業技術研究所から「新規自動車の制御技術に燃料性状が与える影響調査」について受託し、調査・試験を実施した。
- (2) 製品部会燃料油分科会において、(株)石油産業技術研究所から「ディーゼル車の燃料供給システム調査」について受託し、調査・試験を実施した。

2. 図書及び標準試料認証・販売事業

2-1 図書販売

- (1) 石油及び周辺エネルギー分野の啓発及び技術の発展を目的に販売している以下の図書について、出版社より販売部数に応じて販売手数料を得た。
「新版 石油精製プロセス」「新版 石油化学プロセス」
- (2) 「石油化学プロセス」(2001年刊行)の改訂版として、2018年9月に「新版 石油化学プロセス」を発行した。

2-2 標準試料認証・販売

2018年度の認証数(販売数)は次のとおりである。硫黄分(1,486)、窒素分(236)、ニッケル・バナジウム分(28)、FIA用(9)、軽油硫黄分(516)、標準ガソリン(109)、引火点(1,147)、分離確認用標準(24)、希釈用ガソリン(3)総計は3,558であった。

3. 溶接士の認証事業

- (1) 2008年6月から(一社)日本溶接協会にJPI規格4種の免許証発行業務を移管している。2018年度の認証者数は721名で、現在までの累計認証者数は141,961名である。
- (2) 中国・四国・九州地区溶接功労賞受賞者6名の表彰を2018年11月30日(金)に行った。

4. 会員交流事業

- (1) 製品部会潤滑油分科会では、JPI-5S-15-05[陸用ディーゼルエンジンピストン評価法]及びJPI-5S-25-08[ガソリンエンジンワニス評価法]を関連の業界技術者に普及するため、第45回レイティングシンポジウムを2018年11月9日(金)、15日(木)、16日(金)、22日(木)に開催した。
- (2) 装置部会回転機分科会では、以下の活動を行った。
 - 1) 「高効率可変速増速機」をテーマに新技術発表会を2018年4月20日(金)に開催した。
 - 2) 「大型クライオジェニックポンプの振動低減対策」をテーマに新技術発表会を2018年7月27日(金)に開催した。
 - 3) メカニカルシール技術講座を2018年7月11日(水)～13日(金)、2018年11月7日(水)～9日(金)、2019年2月27日(水)～3月1日(金)に開催した。
 - 4) 遠心ポンプ教育講座を2018年6月25日(月)、26日(火)に開催した。
 - 5) 往復動圧縮機教育講座を2019年2月25日(月)、26日(火)に開催した。
- (3) 装置部会計装分科会では、以下の活動を行った。
 - 1) 若手育成を目的に計装技術事例交換会を2018年9月14日(金)に開催した。
 - 2) 「防爆ロボットの開発と応用について」をテーマに勉強会を2018年7月20日(金)に開催した。
- (4) 装置部会電気分科会では、以下の活動を行った。
 - 1) 「4極突極形発電機の開発について」をテーマに勉強会を2018年7月12日(木)に開催した。
 - 2) 発電機の基礎、応用の知識を習得することを目的に若手勉強会を2018年9月12日(水)に開催した。
- (5) 講演会等の開催に併せて参加者の交流を目的に懇親会を開催した。
- (6) 維持会員向けに事業内容等を説明する維持会員交流会を2018年11月29日(木)に開催した。

5. 会員向けサービス

毎月1回、普通会员及び維持会員あてに本会のトピックス、行事案内、募集などを記載したメールマガジンを発信した。

【法人管理】

1. 庶務事項

2018年5月22日就任の新役員の登記手続きは7月に終了した。

2. 法人運営

(1) 法人管理・運営にあたり、以下の会議を開催した。

理事会（5回）、運営会議（5回）、顧問会（1回）、役員等候補者選定委員会（2回）、財務委員会（3回）、職員人事委員会（3回）

(2) 下記規程類を制定、改定及び廃止とした。

（制定）

- * 石油学会ジュニア・ソサイアティ規程
- * 寄附金取扱規程

（改定）

- * 細則（会員権、退会、表彰、JPLJS、委員会名称、寄附金取扱）
- * 表彰規程
- * 職員就業規程
- * 職員給与規程
- * 育児休業規程
- * 介護休業規程
- * 講演者、司会者及び座談会参加者等の講演料、旅費、謝礼規程
- * 役員の報酬等及び費用に関する規程
- * 設備維持管理士認証委員会規程
- * 一般誌編集委員会規程
- * 装置部会運営規則
- * 顧問推薦規則
- * 役員等候補者選定規則
- * 表彰運営規則
- * 奨励賞助成金規則

（廃止）

- * 野口記念表彰規程

(3) 会員増強活動として、次の取り組みを行った。

- 1) 前年度に引き続き会員拡大年間として入会金を免除した。
- 2) 普通会员初年度会費半額キャンペーンを実施した。
- 3) 主に企業の新入社員、若手社員を対象に、ペトロテック第41巻第4号に特集記事「ようこそ石油・石油化学業界へ2018」を掲載し、前年度に続き、ペトロテック編集委員会と広報・会員拡大委員会が連携して入会勧誘活動を実施した。
- 4) 本会役員を中心に維持会員の勧誘を行った。

(4) 他学協会、その他の団体から事業の共催、協賛などの依頼を受けて積極的に協力した。

【会員数の状況】

2018年度末（2019年3月31日）と前年度末の会員数の比較は次表のとおりである。

項目 会員別	2018年 3月31日現在	2018年度会員数の増減			2019年 3月31日現在
		増	減	増または減	
名誉会員	3 8	3	2	1	3 9
普通会員	2 9 9 4	8 4	1 7 9	△ 9 5	2 8 9 9
学生会員	2 1 0	9 9	1 0 0	△ 1	2 0 9
小 計	3 2 4 2	1 8 6	2 8 1	△ 9 5	3 1 4 7
維持会員					
特級	1	0	0	0	1
1 級	1 4	0	0	0	1 4
2 級	9	0	0	0	9
3 級	3 0	0	0	0	3 0
4 級	2 2	1	0	1	2 3
5 級	1 9 4	3	4	△ 1	1 9 3
小 計	2 7 0	4	4	0	2 7 0
公共会員	2 0	0	0	0	2 0
総 合 計	3 5 3 2	1 9 0	2 8 5	△ 9 5	3 4 3 7

【委員会・部会の会合数】

2018年度の会合数は次表のとおりである（傘下の委員会を含む）。

会 合 名	数	会 合 名	数
通常総会	1	部会連絡会	2
理事会	5	資源部会	3
顧問会	1	精製部会	2
運営会議	5	プロセス分科会	10
財務委員会	3	ペトロリオミクス分科会	6
職員人事委員会	3	石油化学部会	3
役員等候補者選定委員会	2	製品部会	3
受託事業委員会	1	ガソリン分科会	28
創立60周年記念東京大会実行委員会 （含むWG）	8	燃料油分科会	14
支部長会議	1	潤滑油分科会	13
広報・会員拡大委員会	1	アスファルト分科会	8
ペトロテック編集委員会	11	絶縁油分科会	25
Working Group 委員会	55	試験分析分科会	7
論文誌編集委員会	7	装置部会幹事会	3
石油化学プロセス編集委員会	1	設備維持規格委員会	44
研究・技術企画委員会	4	装置部会委員会	12
表彰委員会	2	機器分科会	8
表彰推薦委員会	1	回転機分科会	20
表彰選考委員会	6	配管分科会	16
研究助成委員会	1	計装分科会	18
教育委員会（含むWG）	4	電気分科会	13
国際研究協力に関する受託事業実行委員会	3	設備保全分科会	12
研究者支援育成に関する受託事業実行委員会 （含むWG）	9	保安分科会	9
認証部門連絡会	1	経営情報部会（含むWG）	11
設備維持管理士認証委員会	44	新エネルギー部会	3
溶接士検定委員会	1	次世代バイオ燃料油分科会	5
標準試料委員会	7		
		合 計	486

【講演会，討論会，研究発表会並びに見学会等の実施】

月	日	曜	名 称	開催地	講演数	参加者数
2018年						
5	22 23	火 水	第59回通常総会，第61回年会－特別講演，受賞講演 受賞講演，依頼講演，第67回研究発表会， 第23回JPIJSポスターセッション	東京	16 32 60	280
6	1	金	第38回絶縁油分科会研究発表会	京都	10	138
10	4 5	木 金	29th JPI Petroleum Refining Conference 「Recent Progress and Future Prospect in Petroleum & Petrochemical Technologies」	東京	7	117
10	17 18	水 木	創立60周年記念東京大会「これまでの60年－次世代につなぐイノベーション」 －特別講演，招待講演，パネルディスカッション，写真展 －第48回石油・石油化学討論	東京	20 PD1 215	639
10	29	月	第18回 回転機研究討論会	東京	5 WS6	263
11	2	金	第1回屋外貯蔵タンクセミナー	東京	4 PD1	102
11	12 13	月 火	第28回日本－サウジアラビア合同シンポジウム	ダーラン	7(全体 24)	130
11	21 22	水 木	第15回配管技術セミナー 「初級編～プラントの配管材料基準に関する技術の習得～」	東京	12	99
11	26	月	2018年度保安セミナー 「事例で学ぶ変更管理とリスク源の特定」	東京	3 PD1	59
12	6	木	2018石油製品討論会	東京	12	109
12	7	金	第1回石油化学部会シンポジウム 「CCUS－エネルギーと化学におけるCO ₂ 回収固定・利用」	東京	5	70
12	10 11	月 火	第49回装置研究討論会「設備保全の温故知新」	東京	8 PD2	129
2019年						
1	9	水	設備維持規格講習会，一般及び更新講習会（回転機）	東京	－	61
1	10	木	設備維持規格講習会，一般及び更新講習会（電気設備）	東京	－	32
1	11	金	設備維持規格講習会，一般講習会（配管・設備）	東京	－	69
1	15	火	設備維持規格講習会，一般講習会（配管・設備）	京都	－	58
1	16	水	設備維持規格講習会，一般及び更新講習会（計装設備）	東京	－	75
2	3	日	2018年度設備維持管理士認証のための評価試験 （配管・設備，回転機，電気設備，計装設備）	東京 大阪	－	502
2	15	金	設備維持管理士更新講習会（配管・設備）	東京	－	119
2	18	月	設備維持管理士更新講習会（配管・設備）	京都	－	99
2	21	木	新エネルギー部会講演会 「脱炭素化に向けた国内外の情勢と再エネ利用の革新技術」	東京	7	61
2	22	金	第44回精製パネル討論会	東京	PD3	188
3	1	金	第35回計装研究討論会	東京	5 PD1	135
3	6	水	資源講演会「低炭素化時代の石油・天然ガス」	東京	6	53
3	7	木	第19回電気研究討論会「トラブルへの対応」	東京	4 PD1	100

WS：ワークショップ，PD：パネルディスカッション

以上